

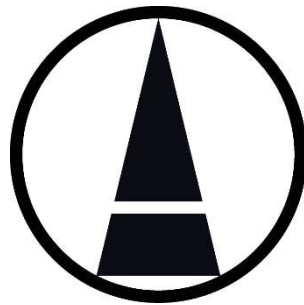
令和7年度

第55回 富山支部全体会

日 時 : 令和7年5月10日(土) 16:00~

場 所 : オーバード・ホール

(1階ハイビジョンシアター)



公益社団法人

富山県建築士会 富山支部

公益社団法人 富山県建築士会 富山支部

富山支部 活動報告

(15 : 45～16 : 00)

令和 6 年度の活動について振り返る（記録動画や写真を交えて）

第 55 回 富山支部全体会

(16 : 00～16 : 30)

1. 開会
2. 支部長挨拶
3. 来賓紹介・挨拶
4. 物故会員への黙祷
5. 議長選出
6. 議事

報告事項 1	令和 6 年度	事業報告の件
報告事項 2	令和 6 年度	事業収支決算報告の件
第 1 号議案	令和 7 年度	富山支部役員(案)の件
第 2 号議案	令和 7 年度	事業方針(案)の件
第 3 号議案	令和 7 年度	事業計画および収支予算報告の件
その他		
7. 閉会（この後、引き続き富山建築クラブ第 13 回総会を開催します）

講演会

(16 : 45～17 : 55)

～木造住宅耐震改修の実態と進め方～

講師 大楠 安紀氏
(大楠安紀一級建築士事務所)

令和 6 年度 物故会員 (令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日)

なし

令和 6 年度 事業報告

自 令和 6 年 4 月 1 日 至 令和 7 年 3 月 31 日

月	日	名称	会場	参加者
4	17	第 1 回 役員会：総会議案書、事業実施計画	建築設計会館 3 階会議室	11 名
4	28	かぐてんぼう隊出動(1 件)	富山市上滝地区	3 名
5	11	富山支部活動報告・支部全体会 講演会： 【空家の再生、まちを動かす】 講師：(一社)アキヲ代表理事 小西不動産代表取締役 小西正明氏	オーバートホール 1 階ハイビジョンシアター	34 名
5	21	第 1 回 かぐてんぼう隊委員会	建築設計会館 3 階会議室	12 名
6	19	第 2 回 役員会・かぐてんぼう隊委員会	建築設計会館 3 階会議室	12 名
6	29	建築士の日イベント	富山駅南北自由通路	16 名
8	7	第 3 回 役員会・かぐてんぼう隊委員会	建築設計会館 3 階会議室	16 名
8	21	第 4 回 かぐてんぼう隊委員会	建築設計会館 3 階会議室	16 名
8	30	かぐてんぼう隊出動 (4 地区)	蛭川、総曲輪、柳町、奥田	14 名
9	8	かぐてんぼう隊出動 (3 地区)	総曲輪、柳町、奥田	16 名
10	5 ～ 6	富山ブロック事業 著名建築物の見学、県外士会との交流・情報 交換(上越支部)	上越地区	15 名
10	9	第 5 回 役員会：事業検討	建築設計会館 3 階会議室	16 名
10	17	建築パトロール	富山市内	1 名
12	18	第 5 回 役員会：次年度計画	Big5	22 名
1	19	かぐてんぼう隊啓蒙活動	富山市角川介護予防センター	52 名
2	19	第 6 回 役員会：事業検討	建築設計会館 3 階会議室	14 名
2	1 ～ 28	かぐてんぼう隊出動 (11 件)	富山市内	15 名
3	8	住宅講座 建築家 中村好文氏講演会	国際会議場	90 名
3	19	第 7 回 役員会：事業検討	建築設計会館 3 階会議室	13 名

第1号議案

令和7年度 富山支部役員名簿（案）

常任相談役	今村 彰宏	金山 泰夫	木村 正人	小林 英俊
	近藤 駿明	白山 徹	堂田 重明	中村 忠則
	西野 晴仁	山本 幹史	根塚三起生	鈴木 保二

支 部 長 飯野美代子

副 支 部 長 小見 直輝 宮下 剛 岡崎 光晴

総 務 富樫 吉規 ◎山崎 寛生

常 議 員	姉崎 聖子	稲垣 英優	稲垣由希子	稲葉 伸一
（50音順）	今井 勇英	大釜 恵	越場 厚	小見美由紀
	小山 浩二	富樫久美子	中本 尚	長越 章子
	藤田 秀樹	福村 仁志	○前田 哲宏	宮本 克彦
	室谷 外幸	守田 賢	吉本 章子	石坂 昌夫
	◎荒井 好一郎	◎深谷 美波		

監 事 池田 通則 水葉 幸治

（◎は新任、○は交代）

公益社団法人富山県建築士会富山支部

令和7年度 事業方針 (案)

支部活動の原点 地域支援活動 実践

減災のために効果的な建築士会活動として、安全・安心な地域づくりを実践活動として行う。

重点実施項目

1. 安全・安心な地域づくりのために、建築士会として具体的に協力できることを地域活動として実施する。
 - ①減災のために効果的な家具の転倒防止実施支援
(高齢者世帯・ひとり親世帯を主として)を行う。
 - ② 地域防災自治振興会、防災士会などと情報交換し、協力体制を敷く。
2. 建築士として必要な技術や文化を学ぶ機会を設ける。
 - ①支部全体会・講演会
 - ②切磋琢磨(学ぶ機会)
 - ③ 県内・県外建築見学会
 - ④建築研修等

第3号議案 令和7年度 事業実施体制(案) (事業概要と担当役員)

	事業名	事業概要	チーフ	委員	ワザ-バー
			サブ		
1	全体会 講演会	実施日：5/10(土) タイトル「木造住宅耐震改修の 実態と進め方」 講師：大楠安紀一級建築士事務所 大楠安紀 氏	室谷 外幸	石坂 昌夫	水葉 幸治
			富樫 吉規	稲垣由紀子	
2	切磋琢磨	研修会・見学会などを開催し、互 いに励まし合い、知識や技術など の向上を目指す(会員拡大)	荒井好一郎	大釜 恵	越場 厚
			深谷 美波	飯野美代子	
3	県内建築見学会	新築建物やまちづくり現場見学会 場所：パッパタウン第5街区	岡崎 光晴	長越 章子	小見美由紀
			石坂 昌夫	福村 仁志	
4	県外建築見学会	新築建物やまちづくり現場見学会 場所：未定	小見 直輝	根塚三起生	池田 通則
			富樫久美子	姉崎 聖子	
5	賛助会員訪問	賛助会員の工場、ショールーム等の見学 訪問場所：「タニハタ」を予定	前田 哲宏	藤田 秀樹	中本 尚
			室谷 外幸		
6	A:防災地域支援 B:家具転倒防止 対策支援事業 (県補助事業)	A:家具の転倒防止等の対策実施 実施日：8/30、9/7 対象：総曲輪地区、蜷川地区、 柳町地区、奥田地区 B:砺波地区での詳細講習会実施、 新川・婦負地区での固定活動実施、 サンプル模型作成、ユニフォーム購入等	根塚三起生	前田 哲宏	西野 晴仁
			宮下 剛	大釜 恵	山本 幹史
			富樫 吉規	小見 直輝	木村 正人
			岡崎 光晴	姉崎 聖子	池田 通則
7	建築パトロール協力	富山市建築指導課実施の 建築パトロールに同行	飯野美代子	鈴木 保二	
			前田 哲宏	富樫 吉規	
8	ブロック協議会	富山ブロック会議出席、支部間調整	鈴木 保二	富樫 吉規	根塚三起生
			飯野美代子	前田 哲宏	
9	広報	支部ホームページ	前田 哲宏	福村 仁志	
			富樫 吉規	富樫久美子	

公益社団法人富山県建築士会富山支部 新入会員名簿

令和 6 年 4 月	本谷 未樹	30 代
令和 6 年 4 月	古川 えり子	50 代
令和 6 年 4 月	田嶋 一仁	50 代
令和 6 年 4 月	竹端 陽一	40 代
令和 6 年 9 月	坂井 啓一郎	40 代
令和 7 年 1 月	松原 希実	20 代
令和 7 年 1 月	小林 隼人	40 代
令和 7 年 3 月	島田 浩平	30 代

令和 6 年 4 月 1 日から 令和 7 年 3 月 31 日までの間に入会した方々です。
以上名（男性 5 名、女性 3 名）

綱 領

- 1、われわれの建築は、人類の幸福のため最良の芸術たるべし。
- 2、われわれ建築士は、社会発展のため最新の指導者たるべし。
- 3、わが建築士会は、会員の向上のため最善の団結たるべし。

建築士の歌

作詞 井 上 一 三
作曲 峯 岸 徹
清 瀬 保 二

社団法人 日本建築士会連合会
(昭30. 10. 15制定)

Tempo di marcia

1 晴れ渡る世紀の空に
槌音^{きね}冴えてとどろく
この力更に加えて
同胞^{どうぱう}の幸を護らん
おお われらわれら建築士

は れー わ た こ る せ い き の そ ら に つ ち お と は さ え

2 日に進む時代を越えて
新たる文化つちかう
この理想高くかざして
悠久の平和築かん
おお われらわれら建築士

て と ど ろ く こ の ち か ら さ ら に く わ え て は

3 巢立^{ねだて}ちゆく若き日本に
建設の使命果てしなく
この技術共に磨きて
明日への飛躍誓わん
おお われらわれら建築士

ら か ら の さ ち を ま も ら ん

お わ れ ら わ れ ら け ん ち く し

富山建築クラブ 第13回 総会

議事

報告事項 1 令和6年度 事業報告、決算書、監査報告の件

第1号議案 令和7年度 役員の件

第2号議案 令和7年度 事業方針および事業計画の件

第3号議案 令和7年度 予算書の件

閉会

交 流 会

とやま自遊館 1階レストラン

(18:30～20:30)

令和 6 年度 事業報告、決算書

(令和 6 年 4 月 1 日 ～ 令和 7 年 3 月 31 日)

◇ 収 入

項 目	内 訳	R6 年度予算	R6 年度決算
前期繰越金	富山支部引継ぎ金	2,398,802	2,398,802
富山県建築士会交付金	≡ (支部会費収入) × 0.045	195,000	195,000
総会懇親会参加費 5 月 13 日自遊館	会員 16 名 青年・女性会員 5 名 計 21 名	91,000	79,000
ボーリング大会		24,000	0
住宅講座懇親会	講師及び 17 名参加	0	153,314
見学会・ブロック事業補助	15 名参加、ご祝儀 1 万円		340,000
雑収入	預金利息他	1,000	1,174
合 計		2,709,802	3,167,290

◇ 支 出

項 目	内 訳	R6 年度予算	R6 年度決算
支部運営費	事務委託費	100,000	100,000
コピー費	役員会資料等	15,000	10,600
通信費、消耗品費	通信費、印刷代、振込手数料等	10,000	579
	(以上運営関係費 小計)	125,000	111,179
総会交流会費	総会交流会 21 名、忘年会 22 名	175,500	144,560
新入会員への補助	入会から 3 年間 max12,000 円	20,000	7,500
ボーリング大会	ゲーム代、景品代	40,000	0
全国大会参加補助	鹿児島大会 3,000 円×9 名	40,000	27,000
全国大会懇親会費補助	2,000×1 名	10,000	2,000
見学会・ブロック事業補助	飲食代・土産代、支部予算上限(¥3,000/人)不足分	28,000	429,654
住宅講座懇親会	講師及び 17 名	0	153,314
仙台支部情報誌 ARCH 購読	1,000 円×2 口	2,440	0
雑費	かぐてんぼう隊高校生用ドリンク代等	20,060	6,374
	(以上交流、懇親関係 小計)	336,000	770,402
合 計		461,000	881,581
収 支 差 額	(次期繰越金)	2,248,802	2,285,709
収支差額全体		-150,000	-113,093


参考 1 : 繰越金減額 2,398,802 円 - 2,285,709 円 = 113,093 円

参考 2 : 通帳残高 2,274,140 円 + 現金残高 11,569 円 = 2,285,709 円 (次期繰越金)

監 査 報 告 書

富山建築クラブの令和6年度事業及び会計の執行状況について、
帳簿並びに関係書類を監査した結果、適正に処理されていることを
認めます。

令和 7 年 8 月 16 日

監 事 池田 通則 

監 事 水葉 幸治 

第1号議案

令和7年度 役員名簿（案）

会 長	飯野美代子		
副会長	小見 直輝	宮下 剛	岡崎 光春
監 事	池田 通則	水葉 幸治	
総 務	富樫 吉規	山崎 寛生	

（参考） 富山建築クラブ 会則

（名称）

第1条 本会は富山建築クラブ（以下「会」という）と称する。

（目的）

第2条 会は会員の交流と親睦を深めることを目的とする。

（会員）

第3条 会員は公益社団法人富山県建築士会（以下「建築士会」という）富山支部に属する建築士等、及び会の目的に賛同する者とする。

（役員）

第4条 会は第2条の目的を達成するため、次の役員をおく。

- （1）会長 1名
- （2）副会長 若干名
- （3）監事 2名
- （4）総務 2名

（役員任期）

第5条 役員の任期は2か年とし、総会において選出する。

（総会）

第6条 年に1回総会を行い、事業報告及び決算並びに事業計画及び予算等を承認する。

（経費）

第7条 会の経費は建築士会からの交付金及び会への寄付金その他をもって充てる。

（会計年度）

第8条 会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終える。

以上

第2号議案

令和7年度 事業方針および事業計画（案）

（公社）富山県建築士会からの交付金は、主として同富山支部及び富山建築クラブの運営関係費に充当すると共に、富山支部からの貴重な引継ぎ金を財源としていることに鑑み、年間活用金額（減額）は15万円以下とします。さらに、富山県下の家具固定活動を盛り上げる防災関係事業を継続し、減災活動に貢献するとともに、各種勉強会などを行い、会員相互の交流と建築士としてのレベル向上を図ることを目指します。

第3号議案

令和7年度 予算書（案）

（令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日）

◇ 収 入

項 目	内 訳	R7 年度予算
富山県建築士会交付金	≡（支部会費収入）×0.045	195,000
総会交流会費（自遊館）	24名（3,000×5+4,000×19）	91,000
体力測定会	20名（1,000×20名）	20,000
雑収入	預金利息他	1,000
合 計		307,000

支 出

項 目	内 訳	R7 年度予算
支部運営費	事務委託費	100,000
コピー費	役員会資料等	12,000
通信費、消耗品費	通信費、印刷代、振込手数料等	8,000
	（以上運営関係費 小計）	120,000
総会交流会費	24名＋講師＋新入会員他（6,500×27名）	175,500
新入会員への補助	入会から3年間 max12,000円	20,000
体力測定会	測定費用	40,000
全国大会参加費補助	9/19 大阪大会 3,000円×12名	36,000
全国大会大交流会費補助	2,000円×6名	12,000
見学会等への補助	飲食代・お土産代等	43,000
仙台支部情報誌 ARCH 購読	1,000円×2口 振込手数料共	2,440
雑費		8,060
	（以上交流、懇親関係 小計）	337,000
合 計		457,000
当期収支差額		-150,000
前期収支差額		2,285,709
収 支 差 額	（次期繰越金 ※令和8年度へ）	2,135,709

繰越金減額 2,285,709 - 2,135,709 = 150,000円 減少する（使う）

※ 事業数が12を超える場合は事務局に問合せ下さい。 余った場合は、空欄のままです。
※ ブロック事業は主管支部で全額決算します。他の支部は事業計画のみで予算は0とします。

※県からの助成 402,000円(2025.4.4)あり
決算 774,519円

P6 別紙

[目次←](#)

※ ブロック事業は主管支部で全額予算要求します。他の支部は事業計画のみで予算は0とします。